

18年度を参考に作成しましたので、19年度につきましては多少の変更がありますので、ご了承ください。

## 1.活動方針

1. ユース年代(中学・高校)選手の強化育成  
ユース年代に必要なトレーニングを行う(技術・戦術・体力・精神面)  
同年代チームとの交流試合を積極的に行う  
ピッチ外でも成長できる人間形成
2. **全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会**、全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会、**本大会出場**  
全日本選手権大会静岡県大会優勝、静岡県リーグ優勝
3. 普及活動への取り組み(小学生スクールの実施等)
4. 指導者も常に研修に励む

## 2.活動計画

4月	交流試合	9月	全日本選手権県大会
5月	マガジカップ(菅平遠征)	10月	ユースリーグ兼全日本女子ユース(U-18)県大会
6月	全日本女子ユース(U-15)県大会	12～2月	ジュニアユースリーグ
7月	清水レディースカップ	3月	交流試合・合宿
8月	夏休み交流試合(清水)	年間	静岡県女子サッカーリーグ

## 3.諸費用 年間団費 ¥ 80,000 - (年4回振込)

菅平遠征	¥ 35,000 -
交流試合・合宿	¥ 20,000 - (年2回)
ユニフォーム代	¥ 20,000 -
ジャージ等	¥ 10,000 -

## 4.チーム紹介

清水FC女子は、平成5年4月に清水サッカー協会の一組織として、旧清水市では初の中学生だけの女子チームとして発足し、14年目を迎えました。

**「チーム全体の共通理解と個々の選手の発想で、より攻撃的なサッカーができるようになること」を大きな目標としています。**週4日の練習と週1日の試合を基本とし、練習では高い技術の習得を主に考えトレーニングをしています。

昨年度より単独大会となったU-15(15歳以下)の県大会では4位となり、悔し涙を流しましたが、来年こそはという気持ちをみる事ができました。また、U-18(18歳以下)の県大会には高校生5名と中学生で臨み、どの試合においてもトレーニングでやってきたことを出そうと必死になって戦う姿勢がみられました。昨年に引き続き準決勝で敗れ優勝することはできませんでしたが、大会終了後すぐに来年の大会に向けて気持ちを切り替え、ひたむきにトレーニングに励む選手達に成長を感じています。

選抜大会はなくなりましたが、トレセン活動は例年通り行われており、チームからは多くの選手が県トレセンに選出され、その中から東海トレセン、ナショナルトレセンへと選出されています。

また、高校卒業後の進路については、大学のトップチーム(日本体育大学、東京女子体育大学、武蔵丘短期大学)へ進学し全日本大学選手権等に出場、また社会人となりリーグで活躍している先輩もおり、ユース年代の選手たちの目標となっています。

その他にもチームが主管となって行っている普及事業として、就園前から小学校低学年の子どもを対象としたサッカースクールを行っており、選手がコーチとなって子どもたちを教える機会をもっています。選手達にとって、目標に向かって努力し、積み上げてきた力や気持ちを精一杯発揮することは、サッカーのみならずこれからの人生にとって、すばらしい経験になっていると思います。今後も日々の努力を惜まずに、チームと個人の目標や夢を達成できるようにがんばっていきたくと考えています。

## 5.スタッフ紹介

代表	西村 勉	NPO法人清水サッカー協会理事長
監督	竹澤 和子	清水第八SC～日産FCレディース・元日本代表(MF) 創部(平成5年)より清水FC女子監督 (財)日本サッカー協会公認B級コーチ
コーチ	西貝 尚子	早稲田大学～日興証券～OKI・元日本代表(GK)
(GKコーチ兼任)		平成12年より清水FC女子コーチ (財)日本サッカー協会公認B級コーチ・(財)日本サッカー協会公認B級GKコーチ 平成15～16年(財)日本サッカー協会女子インストラクター